

令和5年度共同運航実習船「翔洋丸」第2次遠洋航海実習（R6.3.18）

船全体の大掃除を行った後、3月14日に、神奈川県三崎港に入港し、漁獲した魚の水揚げを行いました。本航海では、翔洋丸史上最高の漁獲量を記録し、それに伴い水揚げの時間も長時間となりました。水揚げの様子を見学した実習生は、鈴なりの漁獲物がクレーンで釣り上げられている光景に圧倒されていましたが、操業実習で頑張ったこと、大変だったことなどを改めて振り返っている様子でした。水揚げが終わり、3月15日には他県の水産高校の実習生に見送られながら三崎港を出港し、3月17日に大分県臼杵港に寄港した後、3月18日に晴天の空の下、多度津港に入港しました。学校関係者および保護者が大勢見守る中、実習生たちは自信に満ちた表情で下船しました。帰港式の実習生代表あいさつでは、「船内生活において、船の厳しさや、周囲と協力することの大切さを学んだ。だれにも頼ることなく自分の身の回りのことを、自分で行うことがとても大変であり、親のありがたみを感じることもできた」と語っており、実習生は多くのことを感じ、学ぶことができたという印象を受けました。乗船実習で学んだことを今後の学校生活に生かし、夢の実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。

